

地域と歩むコミュニケーション紙

MIYAKO

Vol. 12 2016 初秋号 

地域協議会だより



主な内容

新委員でスタート

～宮古市地域協議会の委員紹介～

みんなの力で地域を創る

～平成 29 年度地域創造基金事業の募集～

～地域創造基金活用事業の紹介～

イベントカレンダー

ふるさと再発見

小国の里にバツカリ広場

長松の滝 (新里・和井内)

新委員でスタート

～宮古市地域協議会の委員紹介～



地域協議会は、住民や地域に根差し、身近な地域づくりを行うため、合併前の旧市町村ごとの活動の要として組織されました。現在、4地域それぞれで、地域課題についての協議、地域創造基金事業の選考などの活動を行っています。

今年4月22日には、4地域の合同会議を開催し、宮古・田老・新里は第7期、川井は第5期の委員に委嘱状を交付しました（任期：平成28年4月22日～平成30年4月21日）。そのほか、今年度の市まちづくりの指針となる経営方針について市長から説明を受け、地域自治区・地域協議会の役割について再確認をしました。

今後も地域の皆さんによるまちづくりへの取り組みを支援していく活動を進めていきます。

田老地域

副
会
長
員

下吉松大山鳥吉前佐々々
西水本棒本居田川木
克幸レオ泰恵久善
剛彦枝子規茂子政



会 長
津田 重雄

宮古地域

副
会
長
員

村伊藏一大赤近佐
上藤石越沼江藤
裕工美初亮利智
敏三子奈恵一彦春功



会 長
坂本みゆき

川井地域

副
会
長
員

佐飛大尻井古佐横
羽鳥川洞石畑館木道
百光健光克秀廣
合利一男雄巳登吉
子



会 長
中村 儀雄

新里地域

副
会
長
員

久飛佐菅佐田山慶野
保澤内野木鎖崎徳内
明愛正春裕雄俊
美子剛悟人雄子二孝



会 長
中野 正隆

みんなの力で地域を創る

平成29年度

地域創造基金事業募集!!



「宮古市地域創造基金」は、地域における住民の連帯強化および地域の振興を図り、市民の一体感の醸成に資する事業に対し、その事業経費を助成する制度です。

◆対象となる事業

各地域自治区内における次のような事業に充当します。詳しくは次のページの活用事業をご覧ください。

1.各地域自治区の住民の連携強化に
資すると認められる事業

- ①地域の自主的な活動
- ②地域のイベント
- ③自治会(町内会)等の組織づくり及び活動支援
- ④自主防災組織づくり及び活動支援
- ⑤その他地域協議会が必要と認める事業

2.各地域自治区の地域の振興に
資すると認められる事業

- ①地域自治区の振興に関するイベント
- ②地域文化の伝承等
- ③地域づくり団体等の育成支援
- ④その他地域協議会が必要と認める事業

◆応募資格

市内に所在する団体(自治会、実行委員会など)

◆応募期限

応募の受付は、下記のとおりです。各地域自治区事務所に備え付けの申請書に所要事項を記載し、持参または郵送にて申し込んでください。また、事業内容などについての相談にも応じます。

(※申請書は市のHPからダウンロードできます。)

応募期限	事業実施時期
平成28年9月30日	平成29年4月1日～平成30年3月20日前後

※各地域協議会での審査を経て、採択となります。

※各地域自治区概ね500万円の範囲内で事業を採択します。応募状況によっては、年度途中で再募集します。

◆申込・問合せ先

○宮古地域自治区
〒027-8501 宮古市新川町2-1
宮古市役所 企画部企画課企画調整係
☎ 68-9064 FAX 63-9114

○新里地域自治区
〒028-2101 宮古市茂市2-112-1
新里総合事務所地域振興係
☎ 72-2111 FAX 72-2116

○田老地域自治区
〒027-0301 宮古市田老字館が森129-2
田老総合事務所地域振興係
☎ 87-2971 FAX 87-3667

○川井地域自治区
〒028-2302 宮古市川井2-186-1
川井総合事務所地域振興係
☎ 76-2114 FAX 76-2042

人をつなげる場に

田代おもしろプロジェクト実行委員会

田代の紅白歌合戦

平成24年から開催している「田代の紅白歌合戦」は、平成25年度・26年度の2年間、地域創造基金を活用しました。事業内容について、実行委員長の村上裕敏さんにたずねました。

Q. 始めようと思ったきっかけは何ですか？

私の住んでいる田代の鍛冶ヶ沢地区で、ふと、年末の紅白歌合戦を自分たちでやってみたらおもしろいのではないかとという話が出たのが最初です。一度、鍛冶ヶ沢地区だけでやってみましたが、せっかくなので田代全体に広げようとなり、今に至ります。

Q. 「紅白歌合戦」の様子を教えてください。

休憩を入れて、約4時間半、紅組白組合わせて40組ほどが出場します。総合同会や各組キャプテンがいて、前日にはリハーサルも実施するなど、「ショー」を目指して組み立てています。出場者、照明や音響などの裏方スタッフは、地元住民がそれぞれの役割を担って関わっています。

Q. やってみて良かったと感じていることは何ですか？

子どもからお年寄りまで幅広い世代が、同じ目線で楽しめ、世代を超えた交流が生まれています。本番だけでなく、準備から終わった後まで、田代全体に共通の話題があり会話のきっかけになっていると感じています。また、田代以外からのお客様も増えていて、様々な人が集まってくる場になっているという実感があります。

Q. 続けていくために必要なことは何ですか？

「ショー」を作るために、素人がプロになれるという楽しさもあるのでしょうか。田代の人たちが楽しいと感じ、自分たちで田代を楽しみたいところに行きたいという気持ちが必要です。

村上さんには、田代地区をフィールドに、紅白歌合戦のほかにいくつかおもしろいこと・楽しいことのあるようです。新たな企画に期待します。



～第5回「田代の紅白歌合戦」～

■日時：12月25日（日）

■場所：亀岳小学校体育館

今年もやります！ぜひ、ご来場ください。



岩泉線レールバイク

廃線のJR岩泉線の線路を活用

和井内刈屋地域振興会

「岩泉線レールバイク」は、今年6月から始めた新たな取り組みで、今年度の地域創造基金を活用しています。事業内容について事務局の藤村茂さんにたずねました。

Q. 始めようと思ったきっかけは何ですか？

地域の少子高齢化が進む中で、地域の魅力を高める方法は何かないかと考えていました。また、岩泉線廃線後、線路沿いの景観を維持するためにも何かしたいと思っていました。そのような中、全国の廃線利用策の中からレールバイクが良いのではないかとまりました。

Q. レールバイクとはどのようなものですか？

線路の上を走ることができるように自転車を改造したものです。2人乗りと4人乗りの計4台を準備しています。地元の鉄工所に加工を依頼し、今でも、利用者の声を聞きながら、より走りやすく、より楽しくするための改良を加えています。



～岩泉線レールバイク～

■出発 JR岩泉線岩手和井内駅

■運行 11月下旬までの土・日・祝日
10時、11時、12時、13時、
14時、15時発の1日6便

■料金 2人乗り・4人乗り共に1台2000円

■問合せ 080-5564-2310



Q. 期待することは何ですか？

地域の人たちが元気になって、自分たちでがんばろうという気持ちを継続するきっかけになることが第一です。それから、地域の外から興味を持って来てくれる人が増えて、地域が活性化することに期待しています。

今は、新緑の中を走るレールバイクですが、秋になれば紅葉が楽しめるのとことです。取り組みが続いていくことに期待します。

みんなの力で地域を創る

地域創造基金は地域住民の連帯強化や地域振興のための事業に活用されています。

ピックアップとして、過去に基金を活用した事業と今年度の新規事業を取り上げます。

また、8月上旬までに実施された7事業についてご紹介します。

これらを参考に、ぜひ、地域創造基金の活用をご検討ください。



宮古



「海の日」宮古港カッターレース

宮古港カッターレース実行委員会

7月17日、市魚市場前で開催しました。あいにくの雨でしたが、28チーム、関係者も含め約600人が参加しました。長さ9mのカッターに14人が乗り込み、湾内往復600mを力と息を合わせて漕ぎをさばきゴールを目指しました。各チームとも技術が向上し、白熱したレースが展開され、多くの観衆を魅了しました。

今年度から新たに市長杯を創設。東京海洋大学、小樽海上技術学校、八戸水産高校、宮古海上技術短期大学の4チームによるレースが行われ、初代優勝は地元・宮古海上技術短期大学校となりました。引き続き、9mカッターを使用するの市民レベルの大会の定着、宮古のPR、水産振興とスポーツの普及に努めていきます。

田老



復興たろう大漁まつり

たろう大漁まつり実行委員会

たろう大漁まつりは、「地域の伝統文化の継承と地域住民の幸せ」を願い、昭和51年から毎年5月に開催されてきました。

震災以降、開催出来なかった年もありましたが、今年は5月15日(日)に開催することができました。当日は天気にも恵まれ、地区内外から約1,500人の来場者がありました。今回は「大城バナサ」と「白澤みさき」のミニライブや、「餅まき」及び「黒森神楽」などのステージイベントの他、たくさんの出店や8隻もの「引き舟」など、子どもからお年寄りまで大いに楽しむことができました。



宮古



僕らの夏祭り

僕らの夏祭り実行委員会

「僕夏(ぼくなつ)」は、8月6日、赤前地区で開催し、今年度で6回目を迎えました。地元住民や地元企業の方々による出店、地元で活動するグループによる音楽演奏、子どもみこしなど、来てくださった方々に楽しんでもらうことができました。特に、祭りの最後を締めくくる赤前首頭では、ボランティアスタッフである首都圏の大学生と地元住民などの参加者が一緒になって踊り、一体感を感じることができました。約500人でにぎわう祭りの様子を見て、地域活性化の一助として継続していきたいと強く思いま



田老



おらほの夏まつり2016 LIGHT UP NIPPON おらほの復興花火大会

WARADUKA

「おらほの夏まつり」は震災以降、LIGHT UP NIPPONや賛同者の協力により「LIGHT UP NIPPON おらほの復興花火大会」として毎年8月11日に開催しています。

開催6年目となる今回は、夜店や「松本哲也」のライブの他、昔懐かしい盆踊りを参加者が一緒になって楽しみました。また、賛同者から寄せられた追悼や復興への思いのこもったメッセージの読み上げと花火の打ち上げを行いました。

田老地区内外から約3千人の方が訪れ、夜の海上に打ち上がる色鮮やかな花火に見入っていました。



新里



新里地区生涯スポーツ推進事業

新里地区生涯スポーツ推進協議会

新里地区の子どもから高齢者までの誰もが、スポーツ・レクリエーションに親しみ、健康の保持や体力の増進、地域や世代間の交流ができるよう、様々なスポーツ行事を開催しています。

本年度は、これまで、6月18日に33人の選手が参加した「グラウンド・ゴルフ大会」、7月には「バドミントン講習会」を2回開催し、小学生親子や一般の方18人が参加しました。

また、7月4日に開幕したナイターによる「ソフトボールリーグ」には7チームが参加し、熱戦を展開中です。



新里



サマーフェスタにいさと2016

サマーフェスタにいさと実行委員会

サマーフェスタにいさと実行委員会では、子どもから年配の方々まで楽しめるイベントとして定着している、新里地区の夏祭り「サマーフェスタにいさと」を8月6日に新里トレーニングセンター特設会場において開催しました。

開会セレモニーに引き続き、宮工一心太鼓、茂市鹿子踊り保存会による力強い演舞が披露され、交流カラオケ大会、ミニコンサート、大抽選会と会場は大いに盛り上がりました。

新里地域の高齢化、若年層の流出が言われて久しい中「活力と魅力ある地域づくり」を目指し、賑わいと交流の場を提供するため、今後も取り組んでいきたいと考えています。



川井



森・川自然力活用型かわい振興事業

川井大自然交流実行委員会

毎年6月第3日曜日に開催している「閉伊川釣り大会」は今年で28回目となり、参加者44名が川井地区内の閉伊川本支流でイワナとヤマメの釣果を競い合いました。

数日前に閉伊川漁業協同組合で大物の魚を放流したこともあり、記録更新となる52センチのイワナを釣りあげた方もいました。

この大会は、閉伊川の清流化と河川環境保護の意識の向上を目的とし、参加者には河川のゴミや空き缶の回収を義務付けています。また、川井地区の小学生には閉伊川美化のための標語を募集し掲示するなど、釣り大会を通じて河川の環境保護に取り組んでいます。

宮古市地域イベントカレンダー H28.9月以降の事業紹介

平成 28 年度 9 月以降に予定されている地域創造基金事業を活用したイベントや行事などを紹介します。
 ※天候などの事情により、事業の中止や日程・場所などが変更になる場合があります。

月	日 程	イベント名(事業名)	開催場所	内 容	主 催	地 域
4		ウェルカムフラワー	宮古駅、駅前商店街など	ウェルカムフラワーの飾りつけ ※ 11 月末まで実施予定	昭和通りのおかみさんもてなしたい	宮古
6	12日～ (土日祝日)	岩泉線レールバイク (地域もガンバルぞ事業)	和井内～中里	旧岩泉線の軌道を活用したレールバイクの運行 ※ 11 月 27 日 (日) まで実施	和井内刈屋地域振興会	新里
9	4日(日)	閉伊川川下り大会 2016	閉伊川特設会場 (湯ったり館下河川敷)	ゴムボートによる川下り	閉伊川遊イング事業実行委員会	新里
9	11日(日)	末前・青倉地区交流事業	末前地区公民館 グラウンド	末前・青倉地区住民の運動会	末前地区自治会	田老
9	25日(日)	新里地区スポーツ・レクリエーション祭	新里トレーニングセンター・農村公園	競技種目： ベタンク・シャッフルボード	新里地区生涯スポーツ推進協議会	新里
9	25日(日)	川井地域大運動会	川井小学校	川井地域住民総参加の大運動会	川井地域大運動会実行委員会	川井
10	8日(土)・ 9日(日)	夏屋紅葉まつり	山の駅 峠茶屋「楓」イベント広場	天然プラネタリウムナイトツアー、ステージイベント、テント販売等	夏屋ろばた塾	川井
10	9日(日)	第70回記念 田老地区体育大会	田老第一中学校 校庭	田老地区住民の大運動会	田老地区体育大会実行委員会	田老
10	16日(日)	オータムフェスタ in 区界	道の駅区界高原	特産品販売・PR、郷土芸能等	オータムフェスタイン区界実行委員会	川井
10	23日(日)	早池峰マラソン 交流推進事業	主会場 川井中学校	峠コース 30 km 里コース 5 km/10 km	特定非営利活動法人 かわい元気社	川井
10	30日(日)	川井郷土芸能祭	川井小学校	川井地域郷土芸能団体の活動成果発表	川井郷土芸能団体連絡協議会	川井
11	6日(日)	和井内ふるさと収穫祭	和井内ふるさと会館	地域農産物、餅・団子等の販売 十割そば食堂開設 ステージイベント 等	和井内区	新里
11	13日(日)	江繫地区収穫感謝祭	元江繫小学校	地域の郷土芸能発表、 写真・絵画コンクール開催	江繫郷土芸能保存会	川井
11	19日(土) ～	復興 冬のイルミネーション	宮古市役所前 歩道橋	イルミネーションの設置 ※平成 29 年 2 月 26 日 (日) まで 実施予定	宮古商工会議所 青年部	宮古
1	21日(土)	ピヨンカフェスティバル	宮古市総合福祉センター 健やかホール	手作り工作や積み木など、 親子が遊べる場の提供	MIYAKO.Revolution21	宮古

小国の里にバツカリ広場

小国地区の大円寺の向かいに「寺向バツカリ広場」ができました。



「バツカリ」は「水唐臼」とも呼ばれる農業用水を利用したのみすり道具のことです。細長いクリの木(長さ4、2メートル)の片方の先端を水がたまるようにくりぬき、もう一方の先端にはきねが取り付けられています。水がたまるときねが持ち上がり、水がこぼれると杵が勢いよく落ちて臼の穀物をつく仕組みになっています。閉伊川沿いでは「ガッター」、県北では「バツタリ」とも呼ばれます。



小国では古くから開田が進められ、水路の沿線や川沿いに精米や製粉のためのバツカリや水車が並んでいました。水のないときには我田引水の争いが起きて、バツカリを壊し合ったという事件も伝えられています。今では水路の整備が進み水の心配は解消され、精米や製粉も機械化されてバツカリは姿を消してしまいました。

小国地域づくり委員会では、水の恵みに感謝し祖先の労苦を後世に伝えるために、地域創造基金事業を活用し、「バツカリ」の復元を進めてきました。まず一昨年、材料を用意して乾燥させ、昨年は加工を施し、今年になって小屋を組み立ててようやく完成にこぎつけました。

6月18日には、地域の子どもたちも参加して除幕通水式を行いました。そのあとテレビで取り上げられたり、かかしも仲間に加わったりして話題を呼んでいます。お寺を訪れた人たちや国道340号



を歩き来する人たちも目を止めて立ち寄ってくれています。「バツカリは昔よく見たので懐かしい」「かかしがリアルで生きているかと思いました」などの感想が聞かれます。小国を通るときはぜひ立ち寄りください。旧小国小学校近くの酒店脇にあります。

